

平成30年度(2018年度)

管理事業名	総合的自転車対策事業			総合計画の体系	第6章 安全で魅力的なまちづくり 第2節 暮らしや都市活動を支える基盤づくり
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 8	土木費	(項) 5	都市計画費 (目) 5 自転車駐車場費
部局名	土木部	予算執行所属	総務交通室		
予算大事業名	総合的自転車対策事業				
総合的自転車対策事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)土木費(項)道路橋梁費(目)交通対策費 総合的自転車対策事業 (款)土木費(項)都市計画費(目)公共駐車場整備費 自転車駐車場整備事業				
事業の目的と概要					
【目的】 駅周辺における自転車等駐車場の確保及び自転車等(原付、自動二輪を含む)の放置防止					
【概要】 総合的自転車対策事業 ・駅周辺の自転車等放置禁止区域内での放置防止啓発、指導及び放置自転車等の移送を実施する。 ・駅周辺に自転車駐車場を設置、運営し、市が定める場所への駐車を促進することにより、駅前的美観を維持する。 ・自転車コールセンターを設置し、移送された自転車等の返還及び自転車駐車場についての問い合わせへの対応を行う。					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成果指標の定義
放置自転車の台数	台	8,816	7,589	6,321	1年間に市内放置禁止区域から移送した放置自転車の台数
自転車駐車場の利用状況	%	84.2	83.9	85.2	収容可能台数に対する利用台数の割合
成果の説明	自転車駐車場の利用促進施策が一巡し、放置自転車の台数は前年度よりも減少したほか、自転車駐車場の利用台数も微増となりました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	414,336	408,946	409,716	770
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	1,490	1,532	1,241	△291
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	28,556	22,968	53,319	30,351
経常収入 小計(a)	444,381	433,446	464,276	30,830
給与関係費	40,277	38,531	38,938	408
物件費	543,663	545,341	548,897	3,556
維持補修費	11,640	8,410	45,694	37,284
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	258	2,622	2,611	△11
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	184,383	188,357	189,961	1,603
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	2,472	2,506	2,612	106
退職手当引当金繰入額	4,933	2,448	2,251	△197
支払利息	12,081	11,166	10,245	△922
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	799,706	799,381	841,209	41,828
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△355,325	△365,935	△376,933	△10,998
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	22,131	-	△22,131
特別収入 小計(d)	-	22,131	-	△22,131
特別費用				
固定資産除売却損	0	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	0	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	△0	22,131	-	△22,131
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△355,325	△343,804	△376,933	△33,129
一般財源充当額	276,861	281,689	371,953	90,264
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△78,464	△62,115	△4,980	57,135

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
経常収入 その他	吹田操車場跡地地区における公共施設整備に係る費用負担金 岸辺駅前北自転車駐車場分 37,150千円
物件費	施設管理委託料(警備・清掃・夜間管理等) 6,995千円の増 自転車駐車場管理業務 2,795千円の減
維持補修費	阪急豊津駅前自転車駐車場ゲートシステム等更新工事(電気設備工事)12,419千円、(建築工事)6,459千円 江坂公園自転車駐車場改修工事 7,614千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	440,950	433,446	464,276	30,830
行政サービス活動支出	612,617	611,236	651,681	40,445
行政サービス活動収支差額	△171,667	△177,790	△187,404	△9,615
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	39,744	37,917	118,955	81,039
投資活動収支差額	△39,744	△37,917	△118,955	△81,039
財務活動収入	-	-	166	166
財務活動支出	65,450	65,982	65,759	△223
財務活動収支差額	△65,450	△65,982	△65,593	389
収支差額 合計	△276,861	△281,689	△371,953	△90,264
一般財源充当額	276,861	281,689	371,953	90,264
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
駐車スペース1台あたりのコスト	平成28年度	19,369 台	25,511 円	「経常費用小計(b)」のうち、(目)自転車駐車場費は573,929,072円で、自転車駐車場駐車スペース1台あたり、年間29,693円のコストが生じています。
	平成29年度	19,489 台	23,684 円	
	平成30年度	19,329 台	29,693 円	
自転車移送1台あたりのコスト	平成28年度	8,816 台	15,062 円	「経常費用小計(b)」のうち、(目)交通対策費は122,051,881円で、移送1台あたり、19,309円のコストが生じています。
	平成29年度	7,589 台	16,998 円	
	平成30年度	6,321 台	19,309 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	67,095	70,615	3,520
未収金	-	-	-	地方債	44,708	45,254	546
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	2,506	2,612	106
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	644	3,512	2,868
有形固定資産	4,435,067	4,385,597	△49,470	その他流動負債	19,236	19,236	-
土地	1,515,538	1,515,538	-	固定負債	645,271	593,287	△51,985
建物・工作物	2,907,832	2,853,669	△54,163	地方債	368,072	322,984	△45,088
リース資産	644	16,390	15,746	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	11,052	-	△11,052	退職手当引当金	27,127	26,589	△538
無形固定資産	3,431	3,431	-	リース債務	-	12,878	12,878
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	250,073	230,836	△19,236
土地	-	-	-	負債の部合計	712,366	663,901	△48,465
建物・工作物	-	-	-	純資産	3,761,902	3,756,922	△4,980
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	35,770	31,795	△3,974	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	4,474,268	4,420,824	△53,445
資産の部合計	4,474,268	4,420,824	△53,445	負債及び純資産の部合計	4,474,268	4,420,824	△53,445

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

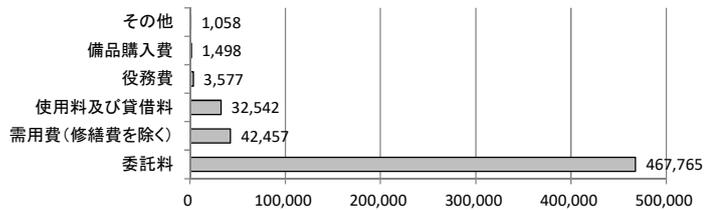
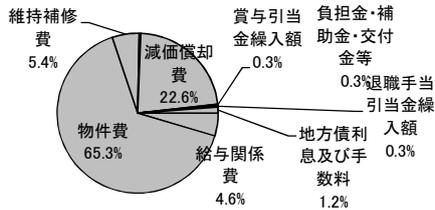
	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	
事業従事人数	4人	2人	176日		人
給与関係費等	35,229千円	6,081千円	2,492千円		合計(千円) 43,802
内、時間外勤務手当	1,582千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	自転車駐車場等減価償却による 54,163千円の減
リース債務	放置自転車管理システムにかかるリース債務 12,878千円の増
その他固定負債	千里ニュータウンプラザPFI負債 19,236千円の減

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	JR吹田駅前西自転車駐車場ほか
取得年月日	【供用開始日】昭和55年(1980年)4月21日ほか
建物・工作物の取得価額	6,121,988 千円
建物・工作物の減価償却累計額	3,268,319 千円
利用料金収入	409,716 千円

▽分析指標

分析指標	年度			差 B-A
	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	
施設維持補修費比率	0.2	0.1	0.7	0.6
施設老朽化比率	48.7	51.5	53.4	1.9
受益者負担比率	51.8	51.2	48.7	△2.5
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	38.6	39.4	44.5	5.1
経常費用対公共資産比率	13.4	13.3	13.7	0.4

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は56.2%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

施設老朽化率が53.4%と、昨年度と比べて1.9%増加しています。経常経費の65.3%を物件費が占めており、その大半は施設管理及び運営のための委託料です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

自転車駐車場は、昭和55年(1980年)に供用開始したJR吹田駅前西自転車駐車場が38年が経過し、市内31か所ある自転車駐車場のうちほとんどの自転車駐車場は建設後10年以上経過しています。施設全体の施設老朽化率は53.4%と市保有施設全体と比べると下回っていますが、個々の状況を見ると、経過年数の増加に伴い付属設備の老朽化も進んでおり、設備の更新及び施設の維持に関する費用がこれまで以上に必要となります。また、電動自転車の普及による自転車の大型化・重量化により、既存の駐輪ラック等の設備では対応できないケースが多くなっており、更新が必要となります。設備の更新及び施設の維持に関しては計画的に進めていく必要があり、老朽化した施設にどれだけのコストをかけて施設の長寿命化を図るのかなど、関係室とも協議していく必要があると考えています。